

平成 31 年度 佐賀大学 A O 入試 I 学生募集要項

理工学部・農学部

(インターネットによる出願受付)

1 アドミッション・ポリシー

本学ホームページ「[受験生の方へ → A O 入試](#)」からアドミッション・ポリシーを必ずご理解いただいた上で本募集要項をご覧くださいませようをお願いいたします。

2 A O 入試 I の「適性検査」問題例（サンプル）の公表について

理工学部及び農学部の A O 入試 I 適性検査は、初めての実施になりますので、受験生に出題のイメージを掴んでいただくために問題例を公表いたします。

なお、実際の適性検査における出題の形式や問題の構成等は、必ずしもこの問題例に限定されるものではありません。

問題例の公表は分野ごとに本学ホームページ「[受験生の方へ → A O 入試](#)」に随時行いますが、すべての分野が公表するものではありません。

3 出願に必要な書類

出願に必要な書類のうち志願者本人が記入するもの（志望理由書、活動実績報告書等）は本学ホームページ「[受験生の方へ → A O 入試](#)」より所定の様式をダウンロードの上、ご利用ください。

4 理工学部及び農学部の改組について

佐賀大学では「地域創生の中核となる人材」を育成するため、平成 31 年 4 月に理工学部及び農学部の改組を行います。

(1) 理工学部

1) コース配属について

理工学部では、これまでの 7 学科体制を 1 学科体制とし、12 の専門コースを設けています。まず 1 年次に学部共通科目や幅広い分野の大学教育に触れながら、自分の適性や関心などに基づき 2 年次にコース配属を行います。

本募集要項の A O 入試 I を含む特別入試においては、志望するコース及び学びたいことが明確である生徒を対象として、分野別入試を行い、分野別入試により入学した学生については、原則として希望分野のコースへの配属となります。一般入試では理工学科として募集する大括り入試を実施しますので、2 年次にコース配属します。

2) コース紹介

【数理分野】

○数理サイエンスコース

代数・幾何・解析などの数学の修得を基に、キャリアパスを想定した確率・統計を学んで、教職・情報技術・金融・保険などの分野での活躍を目指します。

【情報分野】

○知能情報システム工学コース

情報処理の基礎技術を確実にマスターし、そのうえに人工知能、データサイエンスなどのコンピュータを高度に利用する分野での活躍を目指します。

○情報ネットワーク工学コース

情報処理の基礎技術を確実にマスターし、そのうえにネットワーク、ソフトウェアなどの高度基盤技術の開発とシステム実現での活躍を目指します。

【化学分野】

○生命化学コース

化学の基本となる無機化学、有機化学、物理化学、分析化学を学び、化学者として化学、製菓、食品などの分野での活躍を目指します。化学分野では生命化学コースのみ教員免許を取得することができます。

○応用化学コース

材料化学を核とし、化学と工業の融合を進め、材料開発や化学工業に強い化学技術者として有機・無機工業化学などの分野での活躍を目指します。

【物理学分野】

○物理学コース

科学技術支える物理学を広範囲に教育研究し、中学・高校の理科教育や情報技術、宇宙利用、材料開発など、社会の広い分野での活躍を目指します。

【機械工学分野】

○機械エネルギー工学コース

液体、熱、海洋エネルギーなどの有効利用を中心に学び、高度エネルギー利用技術に強い機械工学技術者として幅広い分野での活躍を目指します。

○メカニカルデザインコース

様々な産業分野における開発・設計・生産とそれらのシステムで必要となる機械工学分野の専門知識を学び、モノづくりに強い技術者としての活躍を目指します。

【電気電子工学分野】

○電気エネルギー工学コース

電気エネルギーの発生・変換・利用などの基礎技術を身につけ、工業・医療・農業などの様々な産業分野で活躍できる電気技術者を目指します。

○電子デバイス工学コース

IoTを支える電子デバイス技術や情報通信を学び、ソフトウェアにも強いハードウェア技術者としてエレクトロニクスや情報通信分野での活躍を目指します。

【都市工学分野】

○都市基盤工学コース

安全・安心で豊かな地域社会の構築に貢献できる技術者として、都市基盤の整備・維持管理の分野での活躍を目指します。

○建築環境デザインコース

建築・都市空間およびその周辺環境の整備・改善・保全に対してアイデアとリアリティに富む計画設計等ができる技術者として、地域創生への貢献を目指します。

(2) 農学部

1) コース配属について

農学部ではこれまでの3学科体制を1学科体制とし、4つの専門コースを設けています。1年次に農学の基礎知識を身につけた上で、2年次から4つの教育研究コースへと進んでいきます。

本募集要項のA0入試Ⅰを含む特別入試においては、志望するコース及び学びたいことが明確である生徒を対象として、コース別入試を実施し、入学した学生については、原則として希望コースへの配属となります。一般入試では生物資源科学科として募集する大括り入試を実施しますので、2年次にコース配属します。

2) コース紹介

○生物科学コース

地域の特色である生物資源を活用した、新規農産物や新品種の開発、効率的な生産技術の開発など、生物資源の開発と応用に関する教育研究を行うと同時に、地域の新産業の育成にも貢献します。

○食資源環境科学コース

地球規模の課題ともなっている環境保全やエネルギー開発をはじめ、農業生産システムに関する先端技術の開発を行うことで、農業の技術革新を地方から先導し、地域の農業基盤を支えます。

○生命機能科学コース

実験を重視したカリキュラムにより，食品，医薬・化粧品，環境などの分野における科学技術の発展を推進する能力を備えた人を育成し，地域生物資源の活用に関する研究にも貢献します。

○国際・地域マネジメントコース

農業ビジネス戦略や地域経済の振興につながる他産業との連携の構築，健康で豊かな暮らしの基盤となる地域資源や環境の保全，農山漁村コミュニティの活性化など，国際的な課題を教育研究します。

5 試験実施日程等

A0 入試 I（大学入試センター試験を要しない）

学 部	出願書類提出期間	試験日	合格者発表日	入学手続期間
理 工 学 部	平成30年11月1日(木)	平成30年11月30日(金)	平成30年12月10日(月)	平成31年1月21日(月)
農 学 部	平成30年11月8日(木)			平成31年1月24日(木)

6 募集人員

学部	学科	分野・コース		募集人員
理 工 学 部	理 工 学 科	数理分野	数理サイエンスコース	5
		情報分野	知能情報システム工学コース	8
			情報ネットワーク工学コース	
		化学分野（注）	生命化学コース	5
			応用化学コース	
		物理学分野	物理学コース	7
		機械工学分野	機械エネルギー工学コース	10
			メカニカルデザインコース	
		電気電子工学分野	電気エネルギー工学コース	5
			電子デバイス工学コース	
都市工学分野	都市基盤工学コース	4		
	建築環境デザインコース			
農 学 部	生物資源科学科	国際・地域マネジメントコース		5
合 計				49

（注）化学分野は入学時に各コースに配属されます。出願時に2コースの中から順位をつけて第2志望まで志望できます。

7 出願資格

学 部 等		出願資格及び出願要件
理工学部	理工学科	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を平成 29 年 4 月以降に卒業した者及び平成 31 年 3 月卒業見込みの者 ②通常の課程による 12 年の学校教育を平成 29 年 4 月以降に修了した者及び平成 31 年 3 月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 29 年 4 月以降にこれに該当する者及び平成 31 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 (2) 志望分野への志望動機が明確で入学後も学習に対し意欲的に取り組む者 (3) 以下に指定している科目を履修している者 数理分野・・・・・・・・数学Ⅲ 化学分野・・・・・・・・数学Ⅲ，化学 その他の分野・・・・数学Ⅲ，物理 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者
農学部	生物資源科学科	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を平成 29 年 4 月以降に卒業した者及び平成 31 年 3 月卒業見込みの者 ②通常の課程による 12 年の学校教育を平成 29 年 4 月以降に修了した者及び平成 31 年 3 月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 29 年 4 月以降にこれに該当する者及び平成 31 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 (2) 国際・地域マネジメントコースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者

8 出願手続

出願完了には、下記①～③の全ての手続きが必要です。いずれか一つでも定められた期間内に完了できていない場合、願書が受理できません。

- ① インターネットによる出願情報登録（登録にはEメールアドレスが必要です。）
Eメールアドレスを出願者本人が保有していない場合は、同居の家族など、本人に送信内容が容易かつ確実に伝達できるものであれば、それを使っても構いません。
- ② 検定料の支払い
- ③ 出願書類等（7 ページ参照）の提出（郵送）

出願確認票をインターネット出願システムから印刷し、調査書等の必要書類とともに市販の角形 2 号の封筒（240mm×332 mm）に入れます。その封筒にインターネット出願システムから印刷した宛名ラベルを貼り、出願書類提出期間内に本学に到着するよう「速達簡易書留」で郵送してください。なお、持参による提出は原則認めません。

インターネット環境がない等の理由で、インターネットによる出願登録を行えない場合は、入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めにご連絡ください。

佐賀大学学務部入試課：0952-28-8178

●インターネット出願登録

[インターネット出願登録ページ](#)にアクセスし、ガイダンスページにて出願方法および検定料支払い方法等を確認の上、出願登録を行ってください。（本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。）
なお、出願登録期間前でも出願デモサイトから出願登録の流れを体験できますので、佐賀大学ホームページよりご利用ください。

●出願内容の確認について

- インターネット出願においては、入学検定料の支払い手続きが完了した後は選択科目、志望学部・学科等の出願内容を変更することはできません。
- 入学検定料の支払い前であれば、登録内容の変更・削除は可能です。
- 出願内容を誤りなく確認するには必要事項の入力が完了した後、入力内容の確認画面より出願確認票（確認用）を印刷します。印刷物により入力した内容に間違いがないことを確認できた後で、次の手続きに進むことを推奨します。

●受験票について

平成 30 年 11 月 15 日(木)までに、出願時に登録した E メールアドレスに「【佐賀大学】インターネット出願受験番号確定のご連絡メール」を送信しますので、インターネット出願システムの「申し込み一覧」より A4 用紙に受験票を印刷し、受験時に持参してください。

●入学検定料

インターネット出願システムより、支払い方法を確認の上、17,000 円をお支払いください。なお、振込手数料として別途 640 円が必要です。

検定料の返還に関しては、次に該当する場合を除き、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還いたしません。

- 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合、出願書類が受理されなかった場合、又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合は検定料を全額返還いたします。返還請求の方法等については、入試課までお問い合わせください。

●問い合わせについて

○AI-Campus

- ・人工知能（AI）を活用した受験生向け入試問合せ「AIヘルプデスク」サービスとして、佐賀大学ウェブサイトから入試に関する質問や相談に 3 6 5 日 2 4 時間いつでも回答します。
- ・アクセス方法：本学ホームページ「受験生の方へ」から [「AI-Campus」](#) バナーをクリック

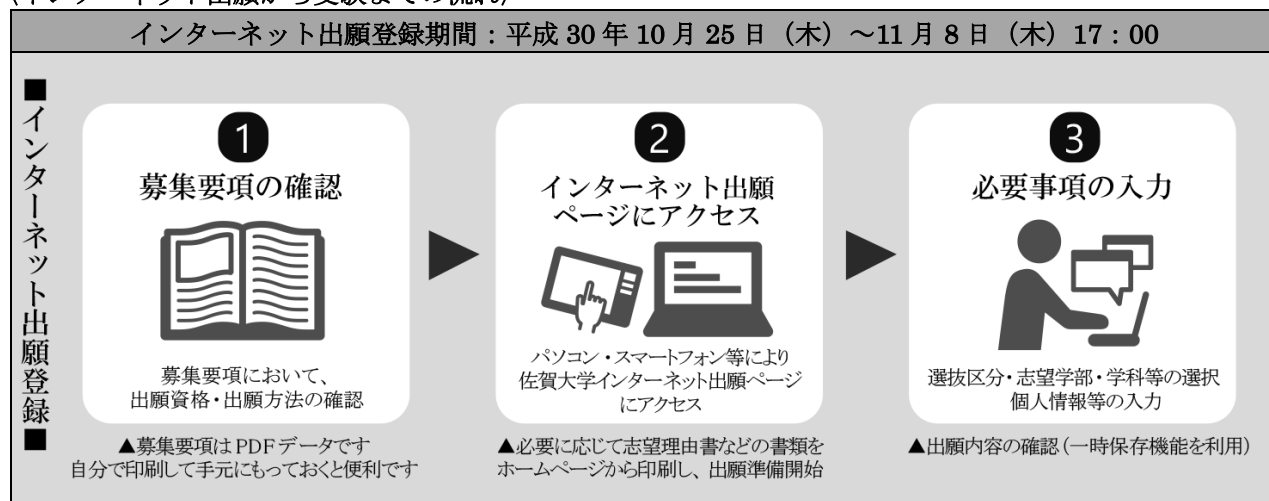
○インターネット出願システムについての問い合わせ

- ・操作方法、入学検定料支払い方法、証明写真データアップロード方法 など
- ・お問い合わせ先
志願受付操作サポート窓口、TEL:0120-752-257（出願登録期間の 9:00～20:00）

○入試全般についてについての問い合わせ

- ・出願資格、入試科目、出願書類 など
- ・お問い合わせ先
佐賀大学学務部入試課、TEL:0952-28-8178（平日の 9:00～17:00）
e-mail : contact@mail.admin.saga-u.ac.jp

〈インターネット出願から受験までの流れ〉



●出願に必要な書類等

出願書類等		内 容
インターネット出願システムより登録・印刷	①出願確認票	インターネット出願システムの「申し込み一覧」より印刷し提出してください。 ※出願確認票には、志望学部・学科、住所、氏名等登録した出願情報が記載されています。
	②証明写真データ	インターネット出願システムの「写真の登録・確認」より上半身脱帽正面向き無背景で、直近3か月以内に撮影した100KB～5MBのjpg又はpngデータを登録してください。
	③宛名ラベル	インターネット出願システムの「申し込み一覧」より印刷し、書類送付用の封筒（市販の角形2号（240×332 mm））に貼り付けてください。
出願に必要な書類	④調査書	所定の様式により出身高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 （注：「学習成績概評」欄に㊸と標示した場合は、必ず「備考」欄にその理由を明記してください。）
	⑤志望理由書	本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、パソコン、タブレット等で作成したものを提出してください。自筆可。（文字の大きさは11ポイントで800字程度（所定の様式に収めること））
	⑥活動実績報告書	本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、パソコン、タブレット等で作成したものを提出してください。自筆可。（11頁の作成要領参照）
	⑦入学検定料免除申請書類 （該当者のみ）	申請を行う場合は、インターネット出願登録前に入試課までご連絡いただき、申請書類を準備の上、出願書類と併せて提出してください。（下記(1)参照）

(1) 東日本大震災又は熊本地震で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

(ア) 東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
- ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

(イ) 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者

(ウ) 熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
- ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

2. 申請方法

申請予定者は、電話による事前審査を行いますので、インターネット出願を行う前に本学入試課（0952-28-8178）へ連絡してください。

3. 申請書類

(ア) 「入学検定料免除申請書」

本学ホームページ「[受験生の方へ→募集要項等ダウンロード](#)」からダウンロードできます。

(イ) 「被災証明書（写し可）」（上記1. (ア)の①又は(ウ)の①に該当する者）

(ウ) 「死亡又は行方不明を証明する書類」（上記1. (ア)の②又は(ウ)の②に該当する者）

(エ) 「被災証明書（写し可）」（上記1. (イ)に該当する者）

(2) 調査書の提出について

廃校・被災その他の事情により出身高等学校長の調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。また、志願者が被災等により上記書類も整えられない場合は、出身学校所管の教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。

9 入試方法、配点等

(1) 入試方法

○理工学部

書類（志望理由書、活動実績報告書及び調査書）、面接及び適性検査の各成績評価を総合して、合格者を決定します。

○農学部

書類（志望理由書、活動実績報告書及び調査書）、面接及び適性検査の各成績評価を総合して、合格者を決定します。

[試験内容]

学部、学科等				大学入試 センター試験	適性検査	面接
理	工	学	部	×	○	○ (口頭試問を含む)
理	工	学	科			
農	学	部		×	○	○
生	物	資	源			
科	学	科				

[適性検査の内容]

学部、学科等		適性検査の内容
理 工 学 部 理 工 学 科	数 理 分 野	数学の知識を活用した問題を出題することにより、知識のみならず論理プロセスも重視した数学に対する適性を評価します（ペーパーテストで実施）。出題範囲は、数学ⅠA、数学ⅡB、数学Ⅲとします。数学Bは「数列」、「ベクトル」から出題します。
	情 報 分 野	問題文や資料等から処理手順を読み取り、そのアルゴリズムを示すことができるかについての論理的思考力を評価します（出題する内容に応じて、ペーパーテストまたは口頭試問により実施）。
	化 学 分 野 (注1)	化学実験などに関する動画や資料（写真や図表など）を題材に、知識のみならず論理プロセスも重視した化学や科学的思考力に対する適性を評価します（タブレット端末で問題を提示し、タブレット端末あるいは解答用紙に解答）。
	物 理 学 分 野	物理や数学の知識を活用した問題を出題することにより、知識のみならず論理プロセスも重視した物理に対する適性を評価します（ペーパーテストで実施）

学部，学科等		適性検査の内容
理 工 学 部 理 工 学 科	機 械 工 学 分 野	機械工学に関連した事項を題材とした問題を出題することにより，高等学校で学ぶ知識のみならず問題解決能力や論理的思考力を重視した機械工学に対する適性を評価します。
	電 気 電 子 工 学 分 野	電気及び力学に関する物理の問題を出題することにより，知識のみならず論理的思考力も重視した上で，電気電子工学に対する適性を評価します（ペーパーテストで実施）
	都 市 工 学 分 野	数学（数ⅡB（確率と統計・ベクトル・数列）・数Ⅲ（微分・積分））と物理（力学・熱力学・エネルギー・波動）に関する融合問題により，知識のみならず論理的思考も重視した数学と物理の素養を評価します（ペーパーテストで実施）
農 学 部 生 物 資 源 学 科	国 際 ・ 地 域 マネジメントコース （注2）	高等学校等で学ぶ基本的な統計処理や，食料，農業，環境，健康問題などに関する時事的な話題を含む基礎知識を前提とした問題を出題し，分析力，判断力，論理的思考力，考察力，コミュニケーション力（発信力）の観点から，学習する力（適性）を総合的に評価します。問題や資料等（図表や動画を含む）の提示はタブレット端末と紙媒体を用いて行い，解答は解答用紙への記入や口頭（集団討論形式の場合もあり）で行います。

（注1）理工学部化学分野の適性検査について

- ・試験は，タブレット端末（以下「端末」）を受験者に各1台配付し，端末で問題を読んで端末あるいは解答用紙に解答します。
- ・試験は冒頭約30分で端末の操作説明，動作確認を行います。
- ・解答時間は60分です。
- ・化学分野の適性検査では，遅刻者の試験室への入室限度が他の試験時間と異なります。試験開始時刻（9：15）までに入室していない場合は受験することができないので十分注意してください。
- ・適性検査のサンプル問題を本学ホームページ「[佐賀大学入試案内→AO入試](#)」に掲載しますので，確認してください。

（注2）農学部の適性検査の内容（解答方法の詳細等）については，志願者数確定後改めて郵送にてお知らせいたします。

[配点]

区分 学部，学科	書類審査 （志望理由書 活動実績報告書 調査書）	面接	適性検査	総合得点 （総合評価）
理 工 学 部 理 工 学 科	3段階 評価	4段階 評価	5段階 評価	5段階 評価
農 学 部 生 物 資 源 学 科	150	150	200	500

(2) 採点・評価基準

学部	入試方法等	採点・評価基準
理 理 工 工 学 学 部 科	書 類 審 査 (志望理由書 活動実績報告書 調 査 書)	志望理由書では、「本分野で学びたいという強い意欲」について評価します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容について、「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願資格および理工学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 志望理由書、活動実績報告書および調査書のそれぞれの評価を考慮しながら、総合的に評価したものを書類審査の評価とします。
	面 接	自己の目標や志望分野に対する意欲等について評価します。 また、口頭試問によって志望分野での学びに必要な応用力等について評価します。
	適 性 検 査	志望する分野の適性及び基礎能力を評価します。
農 生 学 物 部 資 科 源 科 学 科	書 類 審 査 (志望理由書 活動実績報告書 調 査 書)	志望理由書では、「本コースで学びたいという強い意欲」について評価します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容について、「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願資格および生物資源科学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 志望理由書、活動実績報告書および調査書のそれぞれの評価を考慮しながら、総合的に評価したものを書類審査の得点とします。
	面 接	自己の目標や志望コースに対する意欲等について評価します。
	適 性 検 査	志望するコースの適性及び基礎能力を評価します。

(3) 合否判定基準

書類（志望理由書、活動実績報告書及び調査書）、面接及び適性検査の各成績評価を総合して、合格者を決定します。

10 試験日時、試験内容及び試験場

試験日時 平成 30 年 11 月 30 日（金）

学部、学科、分野、コース等		試験時間	試験内容	試験場
理 理 工 工 学 学 部 科	情報分野	9:15 ～ 10:45	適性検査	佐賀大学 (本庄キャンパス)
	物理学分野	12:30 ～	面接（口頭試問を含む）	
	機械工学分野	9:15 ～ 10:45	適性検査	
	化学分野	11:00～	面接（口頭試問を含む）	
	都市工学分野	9:15 ～ 10:15	適性検査	
	数理分野*	12:30 ～	面接（口頭試問を含む）	
農 生 学 物 部 資 科 源 科 学 科	電気電子工学分野	9:15 ～ 12:45	適性検査	
	国際・地域 マネジメントコース	13:30 ～	面接	

*一時「数学分野」と誤って記載した期間がありましたが、正しくは「数理分野」です。

11 受験にあたっての主な注意事項

- (1) 出願期間終了後、出願時に登録したEメールアドレスに「【佐賀大学】インターネット出願 受験番号確定のご連絡メール」を送信しますので、インターネット出願システムの「申し込み一覧」よりA4用紙に受験票を印刷し、受験時に持参してください。
- (2) 「【佐賀大学】インターネット出願 受験番号確定のご連絡メール」受信後、本学ホームページの「[受験生の方へ → A0入試](#)」に集合場所等を記した「受験案内」を掲載しますので、指定された時間、場所に集合してください。
- (3) 試験室では受験番号と机上の番号が一致するように着席し、受験票を机上の右上に置いてください。机上には、受験票、筆記用具、眼鏡及び時計（計時機能だけのもの）以外のものは置かないでください。その他の荷物は監督者の指示に従い、机の下、足元又は横に置いてください。
- (4) スマートフォンや携帯電話、腕時計型端末等の電子機器類を持参した場合は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- (5) 試験時間中、トイレを申し出たい者及び気分が悪くなった者等は、手を挙げて監督者の指示を受けてください。
- (6) 受験票を忘れたとき又は紛失したときは、直ちに試験場本部に申し出て指示を受けてください。
- (7) 弁当及び飲み物は、各自持参してください。
- (8) 受験できなくなった場合は、試験日の前日までに入試課まで連絡してください。
- (9) 試験開始後30分以上遅刻した者は入室できません。ただし、「適性検査（理工学部化学分野・農学部）」では、遅刻者の試験室への入室限度が他の試験時間と異なります。試験開始時刻（9：15）までに入室していない場合は受験することができないので十分注意してください。なお、いずれの試験も試験途中での退室は認めません。
- (10) 面接では、受付から解散までの所要時間が多少長くなることもあるので、その心づもりでいてください。

12 活動実績報告書の作成要領

活動実績報告書の作成要領について（7ページ⑥参照）

「活動実績」とは、志願者の志望分野又はコースに関する高等学校在学中の研究活動等の取り組み、外部の英語検定試験の成績、留学経験、大会・コンクール等の実績です。

以下の要領に基づき所定の様式に記入してください。活動実績報告書の提出は1件のみです。本学ホームページ「[受験生の方へ → A0入試](#)」から様式をダウンロードして使用してください。ただし、様式の改変は認めません。

記入要領（理工学部・農学部）

○志望分野又はコース及び氏名を記入してください。

○実績・活動は以下を参照の上、記入してください。

[1] 区分

実績、活動及びその他のうち、該当するものにチェックしてください。

（実績） 受賞、表彰、資格、検定、記事掲載など実際に得られた功績または成績

（活動） 実績には該当しないが、自己アピールできる主体的な活動

（その他） 実績、活動のいずれにも該当しないもの

[2] 実績又は活動等の名称

実績又は活動等について記入してください。

（実績） 全国大会○○賞受賞、○○の取り組みが○○新聞に掲載など

（活動） ○○ボランティア活動のリーダー、海外語学研修への参加など

[3] 実績又は活動等の主催・認定・授与・発行等の機関等の名称

該当する機関名を記入してください。

（実績） ○○連盟、○○協会など

（活動） NPO 法人○○○○、○○自治体、○○高等学校など

[4] 実績取得年月又は活動期間

該当する年月又は期間を記入してください。

（実績） 実績が得られた年月○年○月

- (活動) 活動期間〇年〇月～〇年〇月
- [5] 実績又は活動等を証明する資料の有無
コンクール入選や資格取得等を証明する資料や、新聞、雑誌等に掲載された記事がある場合は「あり」にチェックし、その写しを提出してください。なお、提出の際は、資料ごとに出典や発行年月日等を記入してください。
- [6] 実績又は活動等の内容
報告する実績又は活動等について、規模、参加資格、入賞条件など客観的に評価できる情報を可能な限り記入してください。
- [7] 実績又は活動等の形態
グループ等で実施した場合は、「グループ等」にチェックし、報告者がグループの中でどのような役割を果たしたのかについて、具体的に記入してください。リーダーとしての役割を果たした場合は、その役割（肩書）が明示された資料も提出してください。個人で実施した場合は、「個人」にチェックしてください。
- [8] アドミッション・ポリシーとの関連性
申請する実績・活動を通して身につけた能力・スキルや経験などが、大学入学後の学習や活動に、どのように生かせるかなどについて、アドミッション・ポリシーを踏まえて記入してください。

＜活動実績報告書の提出イメージ＞



- ・用紙サイズはA4とします。
- ・証明資料は片面印刷で、2枚までとします。
証明資料の上に活動実績報告書を重ね、
左上をホッチキスで留めて提出してください。
- ・証明資料の右下に通し番号を付してください。

13 合格者の発表

- (1) 合格者の発表は、本学「学務部入試課（佐賀市本庄町1番地）」前に合格者の受験番号を掲示するほか、本学所定の合格通知書をもって通知します。
また、合格者発表日の10時30分頃から本学ホームページでも確認できます。
- (2) 日時：平成30年12月10日（月）10時
- (3) 電話による可否に関する問い合わせには一切応じかねますので、ご了承ください。

14 入学後の分野・コースへの配属時期

学部，学科等		配属の時期
理 理 工 工 学 学 部 科	数理分野 物理学分野	2年次に当該コースに配属します。
	情報分野 機械工学分野 電気電子工学分野 都市工学分野	原則として，2年次に希望するコースに配属します。
	化学分野	入学時に希望するコースに配属します。
	農 生 学 物 部 資 科 源 学 科 部 学 科 科	国際・地域 マネジメントコース

15 入学手続

(1) 入学手続の内容

下記(2)の入学手続期間内において，次に掲げる関係書類の提出及び入学料の納入を完了してください。

① 入学手続関係書類

本学所定の誓約書及び学生カード（合格者に対し，合格通知書と同時に郵送します。），写真（2枚）

② 入学料

282,000円（入学手続時に納入してください。）

※この金額は，平成30年4月現在のものです。

(2) 入学手続期間

入学手続書類は，平成31年1月21日（月）から1月24日（木）17時までに必着するように発送してください。

（留意事項）

① 入学時に入学料の改定が行われた場合には，改定後の入学料を納入していただくことになります。

なお，合格通知書送付の際，納入方法を含め，改めてお知らせします。

② 納入した入学料は，いかなる理由があっても返還しません。

③ 下記「入学料免除の申請対象者」のいずれかに該当する特別な事情により入学料の納入が著しく困難であると認められる場合，定められた資格・基準等に基づき書類選考を行い，入学料の全額又は半額免除及び徴収を猶予する制度があります。申請方法等については，学生生活課（0952-28-8486）にお問い合わせください。

入学料免除の申請対象者

- ・入学前1年以内に学資負担者が死亡した方
- ・入学前1年以内に本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた方

(3) 入学辞退について

A0入試の合格者は，本学へ入学しなければなりません。ただし，特別な事情により入学辞退の必要が生じた場合には，平成31年1月24日（木）までに辞退の理由を付した「A0入試入学辞退理由書」（様式任意）を学務部入試課に提出し，本学の許可を得なければなりません。本学の許可を得ないまま，国立大学の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。

なお，入学料免除・徴収猶予の申請をした者で，入学を辞退する場合は，入学料の全額を納付してください。

(4) 入学準備教育について

理工学部合格者には，合格者発表後から入学するまでの間に，次の入学準備学習をしていただきます。

●数学（数Ⅰ，数Ⅱ，数Ⅲ，数A，数B）のeラーニング

※eラーニングとはインターネットなどのコンピューターネットワークを通じて学習する方式です。

受講方法などは合格通知書に同封の書類をご参照ください。

農学部合格者には，入学手続が完了してから入学するまでの間に，入学準備教育を行います。入学後

の学修が円滑に進められ、大学における学修内容についていっそう興味・関心を持てるような課題等を課す予定です。詳細については、合格者発表後に通知します。

16 授業料について

(1) 授業料

267,900円（前期・後期）〔年額535,800円〕

※この金額は、平成30年4月現在のものです。

(2) 納入方法

授業料は「口座振替制度」の利用をお願いしています。

(3) 口座振替日

前期分：2019年5月27日(月) 後期分：2019年11月27日(水)

(留意事項)

- ① 入学時又は在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料を納入していただくことになります。
- ② 下記「授業料免除の申請対象者」のいずれかに該当する場合、定められた資格・基準等に基づき書類選考を行い、授業料（半期分）の全額又は半額を免除する制度があります。申請方法等については、学生生活課（0952-28-8486）にお問い合わせいただくか、本学ホームページをご確認ください。<http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kezai.html>

授業料免除の申請対象者

- ・経済的理由（各種ローンや負債等の返済を除く）によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる方
- ・入学前1年以内に学資負担者が死亡した方、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難と認められる方

17 佐賀大学の一般入試を志願する場合

A0入試Ⅰの志願者で、本学の一般入試に出願する場合は、「一般入試学生募集要項」に従って、出願してください。

18 請求により本人に開示される個人情報

1. 入試成績の通知について

入試成績は、佐賀大学入学試験について、入学志願者本人からの希望に基づき、郵送により通知します。

(1) 成績通知の内容

書類審査、適性検査及び面接を得点又は段階評価で通知します。

(2) 成績の通知時期

出願時に成績通知を希望した志願者に2019年5月1日以降に成績通知書を郵送します。成績通知書が5月31日（金）までに届かない場合は、入試課（0952-28-8178）に電話で問い合わせてください。なお、成績通知書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

(3) 成績通知の申込方法

成績通知を希望する志願者は、インターネット出願画面上の「入試成績の開示請求」欄の「希望する」にチェックし、成績通知手数料（400円）を検定料と併せて振り込んでください。なお、出願後に成績通知の希望の有無を変更することはできません。

2. 調査書の開示について

調査書の開示は、入学志願者本人からの希望に基づき、入試課窓口で閲覧できます。

(1) 開示期間

5月1日（水）から5月31日（金）の午前9時～午後5時（土・日・祝日を除く。）

(2) 開示内容

学習成績や評定平均値などの客観的事実に係る個人情報は開示しますが、主観的評価に係る情報の「指導上参考となる諸事項」、「備考欄」は開示しません。

- (3) 開示方法
希望者は、佐賀大学受験票を持参してください。
- (4) 開示場所
佐賀大学入試課

19 個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、入学者選抜に係る業務（統計処理などの付随する業務を含む。）以外に、教育目的等（入学科・授業料免除、入学科徴収猶予及び奨学金等を含む。）に利用します。

国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、受験者氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限り、ＡＯ入試の合格及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されることをあらかじめお知らせします。

本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供する事はありません。

20 障がい等を有する志願者との事前相談

障がい等を有する志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願前に下記の内容を記載した申請書（様式は任意）を入試課に送付し相談してください。

なお、本学では、学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

＊申請書の内容

志願学部・学科（コース・分野）

障がいの種類・程度

受験上の配慮を希望する事項

修学上の配慮を希望する事項

出身学校等でとられていた配慮

日常生活の状況

連絡先（氏名、電話番号、住所、出身高校）

○相談の時期

平成30年10月19日（金）まで

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障がい等を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

21 佐賀大学生協からのお知らせ

(1) 受験者の宿泊斡旋について

佐賀大学生協同組合（以下、佐賀大学生協と略す）では受験者の宿泊斡旋は行いません。宿泊を必要とする場合は、次のところに照会すると便利です。

なお、この他、宿泊斡旋を行うところもあります。

(ア) JTB コンベンションサポートセンター

〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35 新KBC ビル6F 電話092-751-2102

営業時間は月～金曜日の9:30～17:30（土日祝日は休み）

(イ) 日本旅行佐賀支店

〒840-0816 佐賀市駅南本町3-7 電話0952-24-2218

営業時間は月～金曜日の9:30～17:30（土日祝日は休み）

(2) アパート・マンション等の紹介，教科書教材等の資料請求について

合格者へのアパート・マンション等の紹介は，佐賀大学生協や周辺不動産業者が行っています。受験時に資料請求案内を配布しますが，早めの資料請求予約，問合せは以下の方法よりお願いします。教科書，教材等の案内も平成31年3月初旬に佐賀大学生協から送付いたします。

(ア) インターネット出願時に資料請求する

インターネット出願システムの「個人情報入力」の「大学生協への情報提供確認」において，「大学生協へ氏名・住所等を提供する」を選択してください。後日，登録された住所に資料を送付いたします。

(イ) 電話で資料請求する

佐賀大学生協までお問い合わせください。

佐賀大学生協同組合 佐賀市本庄町1番地佐賀大学キャンパス内

電話（代表）0952-25-4450 月曜～金曜10：00～17：00

(ウ) 佐賀大学生協のホームページから資料請求する

<http://kyushu.seikyou.ne.jp/scoop/>「佐賀大学生協」で検索ください。

22 お問い合わせ先

佐賀大学学務部入試課

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL：0952-28-8178

e-mail：contact@mail.admin.saga-u.ac.jp

23 佐賀大学における個人ノートパソコン等の活用について

佐賀大学では、平成31年度入学生より、学生一人ひとりが個人のノートパソコン等を保有していることを前提とした教育を開始します。

目的

従来の大学では、教員が知識を伝達する講義が教育の中心でした。近年では、学生が自ら課題を発見し解決方法を開拓するアクティブラーニングと呼ばれる手法が重視されています。佐賀大学でも、授業中に学生がインターネットなどを通じて事例などを調査する、調査結果をグループで取りまとめ発表するなどのアクティブラーニング手法を取り入れようとしています。また、経済や交通、人口移動などのデータを分析し、新しいサービスを開発しようとするデータサイエンスの教育にも力を入れようとしています。このような教育を進めていくうえで、パソコンのある特別な教室ではなく、普通の教室の授業で、学生一人ひとりがノートパソコン等を持ち、活用できることが必要となります。

一人ひとりのPC

上記の目的を達成するために、平成31年度入学生より、学生一人ひとりにノートパソコン等を保有していることを求めることになりました。個人のノートパソコンを利用した授業は1年生から始まります。ただし、入学時以前からノートパソコンを保有している学生に、入学時に新たなノートパソコン等を購入することを求めるものではありません。専門科目が始まる2年次以前は、文書作成や表計算などの軽微な作業が中心ですので、大学入学以前に保有しているノートパソコンや、タブレット（キーボードは必要）でも十分です。

なお、佐賀大学ではMicrosoft の包括ライセンス契約を保有しており、Office (Word, Excel, PowerPoint 他) を無償で利用することができます。また、ウィルス対策ソフトウェアについても準備します。そのため、これらのソフトウェアを事前に購入する必要はありません。入学後にインストール作業等を支援します。また、学内には無線LAN を整備しています。学生は自由に利用することができます。

新規購入する場合のノートパソコンの性能などについては、12月ごろに、佐賀大学HP 等を通じてお知らせする予定です。

本件に関する問い合わせ先
佐賀大学学務部教務課（教育企画）

TEL 0952-28-8163